

2018年3月7日

## ネットトヨタ東京株式会社 U-Car 無展示販売に向けて

ネットトヨタ東京株式会社(社長 片山 守、以下ネット東京)は、2018年4月より、新車専売拠点全34店舗で新車U-Carの併売をはじめます。そのうち30店舗ではU-Car展示場を設けず最新のIT機器を駆使した無展示販売をおこないます。

既に昨年より併売を開始しているN-PLAZA5店舗及びU-Car専売店4店舗では「バーチャルショーケース」「360°ビュー」「リモートライブ商談」により他店舗展示車の販売実績をあげており、今回この仕組みを新車店舗で活用することによりU-Car無展示販売が可能となりました。

「バーチャルショーケース」は、2016年3月全店舗に配備した70インチタッチ式モニターBIG PADでU-Car共有展示車全500台を常時大画面で確認できる仕組みです。

また、2017年11月より内外装を上下左右見渡せる「360°ビュー」を「バーチャルショーケース」に組み込むことでインパネから、天井、シートに至るまで内装の状態や、角度を変えて見た時の色目、キズなど他店舗の展示車をショールームに居ながらよりリアルに確認出来るよう進化いたしました。

更に2017年よりN-PLAZAを中心にトライアルを開始した「リモートライブ商談」を2018年4月全店舗に導入予定。お客様の気になる箇所を離れた展示場からライブ中継することで内装の質感から小さな擦り傷、タイヤの溝まで鮮明な画像で確認でき、好評を得ています。併せてこの4月からリモートライブを査定業務へ拡大。新たに開設する査定サポート窓口と店舗を中継することで、修復歴の判定、内外装の減点方法に至るまで、トヨタ認定車両検査員がサポート。トヨタ自動車の厳しい基準を習得した検査員から学べる機会となり、若年スタッフの査定スキル向上にも繋がります。

これら一連の仕組みを活用することで、500台の展示車からお客様にとって最適な一台を無展示店舗に居ながら効率よくお奨めでき、選んでいただけるようになります。

展示スペースの限られた東京エリアにおいて、これからのU-Car販売のあり方のひとつと考え、移動時間、回送時間の削減と併せ、「働き方変革」にも大きく寄与するものです。

ネット東京は全店舗併売化により、どこの店舗でも同じ品揃えでお客様にあわせた幅広い提案をおこなうことでお客様に愛される店舗、町いちばんのお店を目指します。

